平成 24 年 3 月 30 日

各　　位

会 社 名　株式会社グラファイトデザイン
代表者名　代表取締役社長　　松田　喜良
（ JASDAQ　コード番号　　7847 ）
問合せ先　取締役経理部長　　窪田　悟
（TEL. 0494－62－2800）

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 1 月 10 日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 24 年 2 月期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 24 年 2 月期連結業績予想数値の修正(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,596	531	502	375	5,399.10
今回発表予想(B)	4,055	843	846	724	10,424.95
増減額(B-A)	459	312	344	349	
増減率(%)	12.8	58.8	68.5	93.1	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 2 月期)	3,542	508	510	263	3,798.98

平成 24 年 2 月期個別業績予想数値の修正(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,100	641	623	382	5,499.88
今回発表予想(B)	3,595	952	955	726	10,453.73
増減額(B-A)	495	311	332	344	
増減率(%)	16.0	48.5	53.3	90.1	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 2 月期)	3,046	609	612	258	3,725.01

修正の理由

国内においては、東日本大震災の影響もあり、一部の国内女子プロゴルフツアーの大会中止もありましたが、トップを競い合う若手男子プロの活躍や新たなスター候補となりそうな若手女子プロの台頭もあり、ゴルフは人気の高い身近なスポーツとして、ゴルフ人口も増加傾向にあります。一方、年間を通した円高の影響により、景気動向に不透明感が出ていたことから、新製品を中心としたゴルフクラブの販売不振は継続していました。

このような景気環境の中、当社オリジナルである自社ブランド**「ＴｏｕｒＡＤ」**2011 年モデルの**「ＤＪシリーズ」**をプロゴルファーやクラブメーカーへのアプローチを強化した事が奏功し、国内プロゴルフトーナメントにおける**プロ使用率 No. 1** を維持した事により、各クラブメーカーにおけるカスタム採用を予想以上に伸ばすことが出来ました。また、昨年 11 月末に発売しました自社ブランド**「ＴｏｕｒＡＤ」**2012 年新モデルの**「ＢＢシリーズ」**も好調なスタートを切ることが出来ました。加えて、**「ＢＢシリーズ」**発売後におきましても**「ＤＪシリーズ」**に当初想定した以上の受注をいただいたこともあり、当第４四半期における、売上ならびに各段階利益ともに、大きく伸ばす結果となりました。

上記の結果、通期連結業績予想の売上高につきましては 4,055 百万円（459 百万円増）になる見込みです。各段階利益につきましても、営業利益 843 百万円（312 百万円増）、経常利益 846 百万円（344 百万円増）となります。当期純利益につきましては、税効果の影響もあり 724 百万円（349 百万円増）になる見込みです。

(注)業績予想につきましては、現時点で想定できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

●配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年1月10日発表)	―	0.00	―	0.00	0.00
今回発表予想(B)	―	0.00	―	500.00	500.00
当期実績	―	0.00	―		
前期実績 (平成23年2月期)	―	0.00	―	0.00	0.00

配当予想修正の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

また、内部留保につきましては、技術革新対応、生産能力増強への設備投資・研究開発投資など、企業体質強化に備えるためのものであり、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、今まで以上にコスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術・製造開発体制を強化し、加えて、グローバル戦略の展開を図るために有効に投資してまいります。

ただし、ここ数年間はメキシコ工場閉鎖にともなう大幅な特別損失の計上や、リーマンショックの影響による売上の大幅な減少等により、平成19年2月期から剰余金が欠損となり、誠に遺憾ながら5期連続で無配を続けておりました。当社はこの間、事業の再構築や財務基盤の強化等に取り組み、安定的な継続収益の確保を行うべく、事業基盤の確立に努めてまいりました。

この結果、平成24年2月期の当社期末配当におきましても、当社グループを取り巻く環境が未だ不透明な状況にあるとして、配当予想を無配とし、収益力の強化に取り組み、安定的な事業収益基盤の構築を図るとともに、上記基本方針のもとで、安定的・継続的な配当を実施できる財源の確保に努めてまいりました。

この度、平成24年1月10日に公表いたしました、連結業績予想および個別業績予想を大幅に上回る見込みが高まったことを受けまして、これまで応援をしていただいた株主様に報いるために、平成24年2月期の期末配当予想を前回予想の無配から1株あたり500円に修正することといたします。

これにより、年間配当予想も1株あたり500円となり、前期無配から500円の復配となります。

以　上